

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	新津美術館			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	展覧会や関連催事の充実を図り、優れた芸術に触れる機会を提供することにより、多くの市民から親しまれる美術館になることを目指します。	政策2-1-①	美術館入館者数(人)	17,000	16,466	企画展の開催	荒井良二展とその関連イベントを開催(令和7年6月9日から令和8年3月31日まで改修工事に伴い休館)	×	企画展の開催により、目標をほぼ達成し、市民の美術に触れる機会の創出に寄与しました。	今後も企画展を通じて市民に親しまれる美術館を目指します。
2	学校や地域等と連携し、子どもを含む市民が美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	政策2-2-① 行財3-2-②	普及事業の実施回数(回数)	15	23	教育普及事業の実施	美術講座、出前美術館を実施(令和7年6月9日から令和8年3月31日まで改修工事に伴い休館)	○	公民館や学校等へのアウトリーチ活動を通じて、普及に努めました。併せて、休館中の調査研究結果をまとめた「美術館ノート」を発行し、広く知識の普及を図りました。	今後も教育普及活動に取り組み、市民に親しまれる美術館を目指します。
3	職員が、各種の研修に積極的に参加し専門性を高めるとともに、市職員としての資質向上に努めます。	行財1-4-①	研修受講者数(延べ人数)	70	94	研修への参加	文化庁等の専門的な研修や職場研修等への参加	○	一般研修・専門研修を通じて、職員の資質向上に努めました。	引き続き、研修に参加し、職員としての資質向上を図ります。